
神戸常盤大学短期大学部の 教育課程

短期大学部履修要領 口腔保健学科

口腔保健学科

【教育理念】

いのちを大切にす温かく豊かな感性と知性を備え、口腔保健の立場から、人々の健康で幸せな生活実現のために貢献できる、資質の高い歯科衛生士を養成する。

【教育目標】

1. 生命の尊厳と生命科学の知識を習得させるとともに、個々の命と人格を尊重できる感性豊かな人間性と社会性を養う。
2. 人との相互関係を尊重するとともに、相手の心情・行動を理解し、倫理観をもって主体的に行動できる態度を養う。
3. 社会における口腔保健の果たす役割とその重要性を理解し、人々のより豊かな生活を支援できる能力を養う。
4. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
5. 保健・医療・福祉、その他関連職種と連携して、口腔保健活動ができる能力を身につける。
6. 口腔保健の立場から国際貢献できる能力を養う。

【アドミッションポリシー】

1. 口腔保健に深い関心を持ち、社会に貢献したい人
2. 自律の精神を持ち、自己啓発への意欲がある人
3. 協調性とコミュニケーション能力に優れる人
4. 広く世界に目を向け、異文化に興味がある人

高等学校等においては、他者を理解しコミュニケーションの基礎となる国語の学習を通して読解力、理解力、表現力を身につけ、さらに数学や英語など高等学校等における教科・科目を広く学習し、基礎学力を有する人を求めます。また、学習面のみならず、課外活動にも力を注ぐ意欲を有していることが望まれます。

【カリキュラムポリシー】

歯科衛生士の3大業務（歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導）に関する知識と実践の修得に加え、以下のカリキュラムを通して、より資質の高い学生を教育する。

1. 歯科衛生過程・・・自ら考え実践できる歯科衛生士の養成
科学的根拠に基づき歯科衛生士自らが、歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画・立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価ができ、多様化する対象者に対応できる能力を養わせる。
2. チーム医療の基礎と実践・・・チーム医療を担う人材の育成
多様化する医療分野（超高齢社会・疾病の構造変化など）において不可欠なチーム医療を担う職種として必要な基礎知識と実践力を修得させる。
3. 健康を守る社会システムの実践・・・医療人として社会に貢献できる人格と能力の形成
災害支援や地域活動および海外研修を通して、高い倫理観を備えた人格の形成と医療人として社会に貢献できる能力を備えた人材を養わせる。

【ディプロマポリシー】

1. 豊かな人間性と社会性を支える幅広い教養を身につけている。(知識・理解)
2. 問題解決のための科学的探究心を持ち、継続的に学習する（自己研鑽に努める）能力を身につけている。(関心・意欲)
3. 個々の人格を尊重した対人関係形成能力を身につけている。(態度)
4. チーム医療の一員として他職種と協働・連携して専門性を発揮できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を備えている。(技能・表現)
5. 基礎医学を基盤とした歯および顎・口腔疾患に関する専門的知識を習得している。(知識・理解)
6. 生活背景や全身との関係を考慮した口腔疾患の予防に関する計画を立案し、安全に実践できる基本的な技能を有している。(思考・判断・表現・技能)
7. 口腔健康管理の実践に関する基礎知識を習得している。(知識・理解)
8. 口腔保健の立場から地域あるいは国際社会に貢献する基本的能力を備えている。(関心・意欲)

【取得できる資格】

歯科衛生士国家試験受験資格

【履修要領】

I 卒業所要単位

口腔保健学科においては、本学に3年以上在学し、101単位以上を修得した者に卒業が認定され、短期大学士の学位が授与される。101単位の内容は次のとおりである。

1. 必修科目については、94単位を修得する。
2. 選択科目については、①～④の計7単位以上を修得する。

II 履修上の注意事項

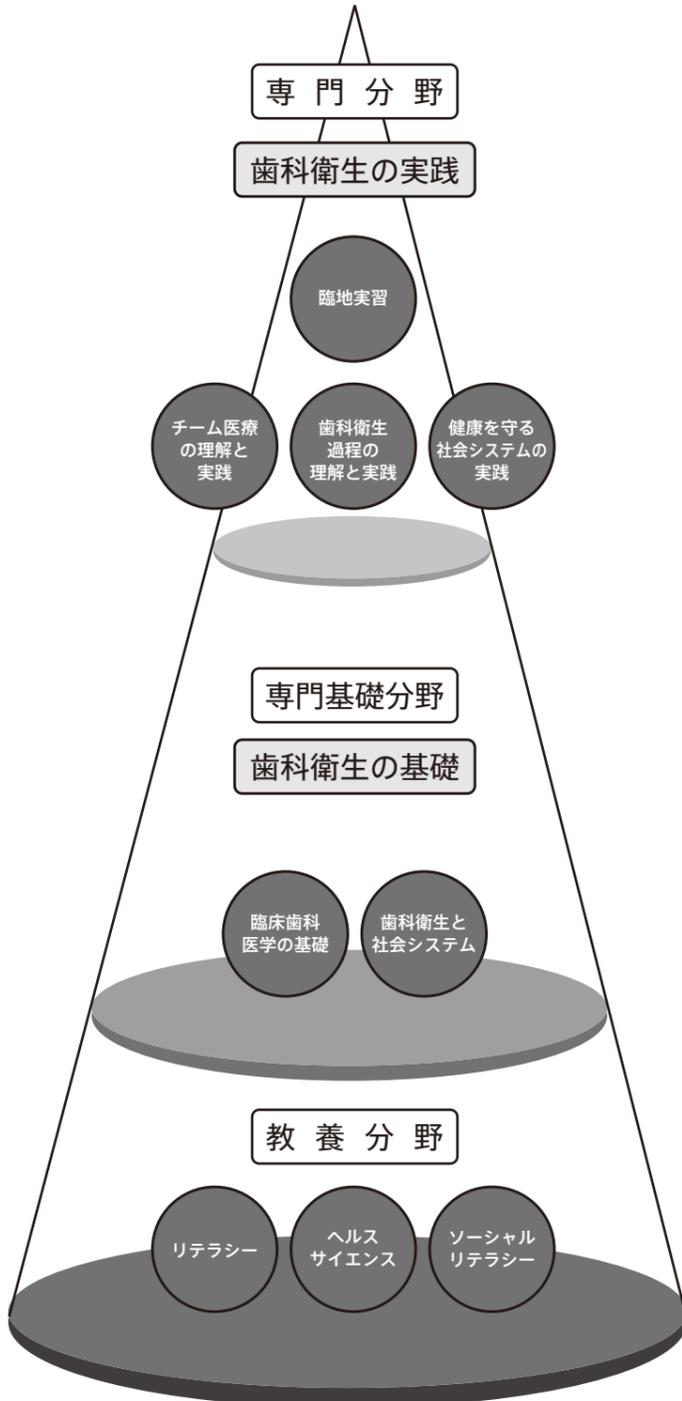
歯科衛生士国家試験受験資格を取得しようとする者は、本学に3年以上在学し、学則第31条第1項に定める単位、すなわち上記卒業所要単位を修得しなければならない。

口腔保健学科のカリキュラム概念図とカリキュラム編成

口腔保健学科 教育理念

いのちを大切にす温かく豊かな感性と知性を備え、口腔保健の立場から、人々の健康で幸せな生活実現のために貢献できる、資質の高い歯科衛生士を養成する。

教育目標	1. 生命の尊厳と生命科学の知識を習得させるとともに、個々の命と人格を尊重できる感性豊かな人間性と社会性を養う。	2. 人との相互関係を尊重するとともに、相手の心情・行動を理解し、倫理観をもって主体的に行動できる態度を養う。	3. 社会における口腔保健の果たす役割とその重要性を理解し、人々のより豊かな生活を支援できる能力を養う。	4. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。	5. 保健・医療・福祉、その他関連職種と連携して、口腔保健活動ができる能力を身につける。	6. 口腔保健の立場から国際貢献できる能力を養う。		
カリキュラムポリシー	歯科衛生士の三大業務 (歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導)に関する知識と実践の修得に加え、以下のカリキュラムとおおして、より高い学生を育成する。		歯科衛生過程 自ら実践できる歯科衛生士の養成 科学的根拠に基づき歯科衛生士自らが、歯科衛生アセスメント・歯科衛生診断、歯科衛生計画・立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価ができ、多様化する対象者に対応できる能力を養わせる。		チーム医療の基礎と実践 チーム医療を担う人材の育成 多様化する医療分野(超高齢社会、疾病の構造変化など)において不可欠なチーム医療を担う職種として、必要な基礎知識と実践力を修得させる。		健康を守る社会システムの実践 医療人として社会に貢献できる人格と能力の形成 災害支援や地域活動および海外研修を通して、高い倫理観を備えた人格の形成と医療人として社会に貢献できる能力を備えた人材を養成する。	



分野/区分	年次経過	1年次		2年次		3年次		卒業要件
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野 歯科衛生の実践	臨床実習					総合歯科実習Ⅰ(3) 診療補助実習Ⅰ(3) 口腔保健衛生学実習Ⅰ(3)	地域口腔保健支援実習Ⅰ(3) 地域口腔保健支援実習Ⅱ(2) 診療補助実習Ⅱ(3) 口腔保健衛生学実習Ⅱ(3)	必修(60)単位・選択(1)単位以上
	健康を守る社会システムの実践					ボランティアの理論と実践(1) コミュニケーションイングリッシュ(1) 海外研修 ※① 1単位以上選択必修	災害時の歯科衛生士の働き(1)	
	チーム医療の理解	歯科診療補助論(1)	臨床歯科Ⅰ(歯科保存)(2) 臨床歯科Ⅱ(歯科補綴)(1)	臨床歯科Ⅲ(口腔外科・歯科放射線)(2) 臨床歯科Ⅳ(小児歯科)(1) 臨床歯科Ⅴ(矯正歯科)(1)	臨床歯科Ⅵ(高齢者・障害者歯科)(1)			
	チーム医療の実践	医療安全(1)	器材学(1) 歯科診療補助演習Ⅰ(2)	臨床検査学(1) 歯科診療補助演習Ⅱ(2)	オーラルリハビリテーション(1) 歯科診療補助演習Ⅲ(1) オーラルリハビリテーション演習(1)			
	歯科衛生過程の理解	歯科衛生学概論(1) 歯科予防処置論A(1) 歯科予防処置論B(1) 歯科保健指導論Ⅰ(1) 歯科保健指導論Ⅱ(1)	歯科衛生過程Ⅰ(1)	歯科衛生過程Ⅱ(1) 栄養指導法(1) コミュニケーション・医療面接(1)				
	歯科衛生過程の実践		歯科予防処置演習AⅠ(1) 歯科予防処置演習BⅠ(2) 歯科保健指導演習Ⅰ(1)	歯科予防処置演習AⅡ(1) 歯科予防処置演習BⅡ(2) 歯科保健指導演習Ⅱ(1)	歯科保健指導演習Ⅲ(1)	歯科保健指導演習Ⅳ(1)	歯科衛生過程演習(1)	
専門基礎分野 歯科衛生の基礎	臨床歯科医学の基礎	人体の構造(2) 人体の機能(2) 口腔の構造(3) 口腔の機能(2) 病原微生物学・免疫学(2) 病理学(2)	生化学・栄養学(2) 薬理学(2)					必修(25)単位・選択(1)単位以上
	歯科衛生と社会システム	口腔衛生学(2)	公衆衛生学(2)	口腔健康統計学(1) 社会福祉総論(1)		災害援助と救急医療(1)	歯科医療と法律・制度(1) 医療情報システム学(1) 歯科医療と経済(1) ※② 1単位以上選択必修	
教養分野	リテラシー	キャリア基礎(1)	医療英語(1) コンピューター演習Ⅰ(1)	コンピューター演習Ⅱ(1)		プレゼンテーション技法(1)		必修(9)単位・選択(5)単位以上
	ヘルスサイエンス	健康スポーツ科学(1) 人間関係論(2)※③	健康科学総論(2)※③	生命倫理(2)			生涯発達論(2)※③ 遺伝子と再生医療(1)※③ ※③ 3単位以上選択必修	
	ソーシャルリテラシー	国際関係論(2) 日本文化の理解(1)※④	福祉社会の理解(2)※④	くらしと法律(2)※④ 地球と環境(2)※④			※④ 2単位以上選択必修	
特別の授業科目	学びの基礎(1) まなぶる▶ときわびとⅠ(1)	まなぶる▶ときわびとⅡ(1)				口腔保健特論Ⅰ(1) 口腔保健特論Ⅱ(2)		合計10単位以上
		← 地域との協働 A-(1) →		← 地域との協働 B-(1) →				

ディプロマポリシー

- 口腔保健の立場から地域あるいは国際社会に貢献する基本的能力を備えている。
- 口腔機能管理の実践に関する基礎知識を習得している。
- 生活背景や先進との関係を考慮した口腔疾患に関する計画を立案し、安全に実践できる基本的な技能を有している。
- 基礎医学を基盤とした歯および顎・口腔疾患に関する専門知識を習得している。
- チーム医療の一員として他職種と協働・連携して専門性を発揮できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を備えている。
- 個々の人格を尊重した対人関係形成能力を身につけている。
- 問題解決のための科学的探究心を持ち、継続的に学習する能力を身につけている。
- 豊かな人間性と社会性を支える幅広い教養を身につけている。

【取得できる資格】 歯科衛生士国家試験受験資格

口腔保健学科 カリキュラムマップ

教育課程	ときわコンピテンシー	知識 市民性	思考力 創造力	市民性	思考力 創造力 市民性	知識	思考力 創造力	知識	思考力 創造力	知識	創造力 市民性
	ディプロマポリシー	豊かな人間性と社会性を支える幅広い教養を身につけている	問題解決のための科学的探求心を持ち、継続的に学習する能力を身につけている	個々の人格を尊重した対人関係形成能力を身につけている	チーム医療の一員として他職種と協働・連携して専門性を発揮できるコミュニケーション能力とフレゼンテーション能力を備えている。	基礎医学を基盤とした歯槽・顎・歯肉に関する専門的知識を習得している	生活背景や全身との関係性を考慮した口腔疾患に関する計画を立案し、安全に実践できる基本的な技能を有している	口腔機能管理の実践に関する基礎知識を有している	口腔保健の立場から地域あるいは国際社会に貢献する基本的能力を備えている		
教育課程	プレゼンテーション技法		○								
	キャリア基礎			○							
	医療英語					○					○
教養分野	コンピュータ演習Ⅰ		○								
	コンピュータ演習Ⅱ		○								
	健康スポーツ科学			○							
	生命倫理		○								
	人間関係論		○								
	生涯発達論		○								
	健康科学総論		○								
	遺伝子と再生医療		○								
	国際関係論		○								○
	くらしと法律		○								○
地球と環境		○								○	
福祉社会の理解		○								○	
日本文化の理解		○								○	
専門基礎分野	人体の構造							○			○
	人体の機能							○			○
	口腔の構造							○			○
	口腔の機能							○			○
	生化学・栄養学							○			○
	薬理学							○			○
	病原微生物学・免疫学							○			○
	病理学							○			○
	口腔衛生学							○			○
	公衆衛生学							○			○
専門基礎分野	歯科医療と法律・制度							○			○
	口腔健康統計学							○			○
	社会福祉総論							○			○
	災害援助と救急医療							○			○
	医療情報システム学							○			○
	医療情報システム学							○			○
	歯科医療と経済							○			○
	歯科診療補助論			○							
	臨床歯科Ⅰ										○
	臨床歯科Ⅱ										○
臨床歯科Ⅲ										○	
臨床歯科Ⅳ										○	
臨床歯科Ⅴ										○	
臨床歯科Ⅵ (高齢者・障害者)										○	
医療安全			○								
臨床検査学										○	
器材学										○	
専門基礎分野	歯科診療補助演習Ⅰ										○
	歯科診療補助演習Ⅱ										○
	歯科診療補助演習Ⅲ										○
	オーラルリハビリテーション										○
	オーラルリハビリテーション演習										○
	歯科衛生学概論			○							
	歯科衛生過程Ⅰ										○
	歯科衛生過程Ⅱ										○
	歯科予防処置論 A (う蝕)			○							
	歯科予防処置論 B (歯周病)			○							
歯科保健指導論Ⅰ			○								
歯科保健指導論Ⅱ			○								
コミュニケーション・医療面接				○							
栄養指導法			○								
専門基礎分野	歯科予防処置演習 AⅠ (う蝕)										○
	歯科予防処置演習 AⅡ (う蝕)										○
	歯科予防処置演習 BⅠ (歯周病)										○
	歯科予防処置演習 BⅡ (歯周病)										○
	歯科保健指導演習Ⅰ										○
	歯科保健指導演習Ⅱ										○
	歯科保健指導演習Ⅲ										○
	歯科保健指導演習Ⅳ										○
	歯科衛生過程演習			○							
	地域口腔保健支援実習Ⅰ										○
地域口腔保健支援実習Ⅱ										○	
専門基礎分野	総合歯科実習										○
	診療補助実習Ⅰ										○
	診療補助実習Ⅱ										○
	口腔保健衛生学実習Ⅰ										○
	口腔保健衛生学実習Ⅱ										○
	災害時の歯科衛生士の働き										○
	ボランティアの理論と実践										○
	コミュニケーションングリッシュ										○
	海外研修										○

MEMO

口腔保健学科カリキュラム

区分	授業科目	授業形態	単位数		1年		2年		3年		備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養分野	リテラシー	プレゼンテーション技法	演習	1						1	① 3単位以上 選択必修
		キャリア基礎	演習	1		1					
		医療英語	演習	1			1				
		コンピュータ演習Ⅰ	演習		1		1				
		コンピュータ演習Ⅱ	演習	1				1			
	ヘルスサイエンス	健康スポーツ科学	演習	1		1					
		生命倫理	講義	2				2			
		人間関係論	講義		2	2					
		生涯発達論	講義		2					2	
		健康科学総論	講義		2		2				
	ソシヤル リテラシー	遺伝子と再生医療	講義		1					1	
		国際関係論	講義	2		2					
		くらしと法律	講義		2			2			
		地球と環境	講義		2			2			
		福祉社会の理解	講義		2		2				
専門基礎分野	臨床歯科医学の基礎	国際関係論	講義		1	1					② 2単位以上 選択必修
		人体の構造	講義	2		2					
		人体の機能	講義	2		2					
		口腔の構造	講義	3		3					
		口腔の機能	講義	2		2					
		生化学・栄養学	講義	2			2				
		薬理学	講義	2			2				
		病原微生物学・免疫学	講義	2		2					
		病理学	講義	2		2					
		口腔衛生学	講義	2		2					
	歯科衛生の基礎	公衆衛生学	講義	2			2				
		歯科医療と法律・制度	講義	1						1	
		口腔健康統計学	演習	1				1			
		社会福祉総論	講義	1				1			
		災害援助と救急医療	講義	1						1	
歯科衛生と社会システム	医療情報システム学	講義		1					1		
	歯科医療と経済	講義		1					1		
	医療情報システム学	講義		1					1		
	歯科医療と経済	講義		1					1		

学科別履修要領／口腔保健学科

区分	授業科目	授業形態	単位数		1年		2年		3年		備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専 門 分 野	チーム医療の理解	歯科診療補助論	講義	1		1					
		臨床歯科Ⅰ(歯科保存)	講義	2			2				
		臨床歯科Ⅱ(歯科補綴)	講義	1			1				
		臨床歯科Ⅲ(口腔外科・歯科放射線)	講義	2				2			
		臨床歯科Ⅳ(小児歯科)	講義	1				1			
		臨床歯科Ⅴ(矯正歯科)	講義	1				1			
		臨床歯科Ⅵ(高齢者・障害者)	講義	1					1		
	チーム医療の実践	医療安全	講義	1		1					
		臨床検査学	講義	1				1			
		器材学	講義	1			1				
		歯科診療補助演習Ⅰ	演習	2			2				
		歯科診療補助演習Ⅱ	演習	2				2			
		歯科診療補助演習Ⅲ	演習	1					1		
		オーラルリハビリテーション	講義	1					1		
	歯科衛生過程の理解	オーラルリハビリテーション演習	演習	1					1		
		歯科衛生学概論	講義	1		1					
		歯科衛生過程Ⅰ	講義	1			1				
		歯科衛生過程Ⅱ	講義	1				1			
		歯科予防処置論A(う蝕)	講義	1		1					
		歯科予防処置論B(歯周病)	講義	1		1					
		歯科保健指導論Ⅰ	講義	1		1					
		歯科保健指導論Ⅱ	講義	1		1					
	歯科衛生過程の実践	コミュニケーション・医療面接	講義	1				1			
		栄養指導法	講義	1				1			
		歯科予防処置演習AⅠ(う蝕)	演習	1			1				
		歯科予防処置演習AⅡ(う蝕)	演習	1				1			
		歯科予防処置演習BⅠ(歯周病)	演習	2			2				
		歯科予防処置演習BⅡ(歯周病)	演習	2				2			
		歯科保健指導演習Ⅰ	演習	1			1				
		歯科保健指導演習Ⅱ	演習	1				1			
	臨地実習	歯科保健指導演習Ⅲ	演習	1					1		
		歯科保健指導演習Ⅳ	演習	1						1	
		歯科衛生過程演習	演習	1							1
		地域口腔保健支援実習Ⅰ	実習	3						3	
		地域口腔保健支援実習Ⅱ	実習	2							2
		総合歯科実習	実習	3					3		
		診療補助実習Ⅰ	実習	3					3		
	システムを守る社会	診療補助実習Ⅱ	実習	3						3	
		口腔保健衛生学実習Ⅰ	実習	3					3		
		口腔保健衛生学実習Ⅱ	実習	3						3	
		海外研修	演習	1							1
	災害時の歯科衛生士の働き	演習	1							1	
	ボランティアの理論と実践	演習		1					1		
	コミュニケーション・イングリッシュ	演習		1					1		
合計			94	20		52		37		25	

④
1単位以上
選択必修

(注意) 1. 授業科目の学年配当は標準を示すものです。時間割表と一致しない場合がありますので注意すること。

特別の授業科目

区分	授業科目	授業形態	単位数		1年		2年		3年		備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
口腔保健学科 特別の授業科目	学 び の 基 礎	講義		1	1						
	まなぶる▶ときわびとⅠ	演習		1	1						
	まなぶる▶ときわびとⅡ	演習		1		1					
	地 域 と の 協 働 A	演習		1		1		1			
	地 域 と の 協 働 B	演習		1			1		1		
	口 腔 保 健 特 論 Ⅰ	講義		1							1
	口 腔 保 健 特 論 Ⅱ	講義		2							2
合 計			0	8							

(注意) 上記の特別の授業科目の単位数は、卒業所要単位には含めないで注意すること。